



令和5年度 甲府市立里垣小学校

令和6年1月25日
発行第10号



さとがき

里垣小学校だより
甲府市立里垣小学校
校長 保坂 茂

【学校教育目標】かしこく、なかよく、たくましい子どもの育成

里垣小学校ホームページ <http://www.satogaki-e.kofu-ymn.ed.jp/>



3学期がスタートしました

令和6年1月10日、里垣小学校の3学期がスタートしました。朝、玄関では何人もの児童が「おはようございます。今年もよろしくをお願いします。」と、挨拶してくれました。

また、3学期の始業式では、全学年の児童が笑顔で元気そうな顔を2週間ぶりに見せてくれました。どの子も話しかけると、冬休みの思い出をとてもうれしそうに話してくれ、充実した冬休みを過ごした様子が伺われました。

始業式で私からは、子どもたちに「簡単・平凡をおろそかにしない。」という話をしました。3学期は新学年に向け、全校体制でこれまでの『成長キーワード』を含め、各学年の成長段階に沿って育てていきたいと考えています。

一例を挙げると、現在子どもたちは清掃中も心を込め、無言清掃を合い言葉に担当場所をきれいにしています。教職員も子どもたちと一緒に。私もバケツにお湯をくみに来る子どもたちに声をかけながら、お湯を配っています。いい加減にしない、適当にしない姿にすかさず声かけをします。

「お願いします」「ありがとうございます」「こぼさないようにね」声かけがあるだけで、みんなが互いに笑顔になります。うれしいことを続けること、人に喜ばれることを徹底すること。簡単なこと・平凡なこと、それらを積み重ねて、知恵や経験を加えて、「成功」につなげていってほしいと思います。

ぜひ今年も家庭と学校、同一歩調で子どもたちをよりよい方向に導いていきたいと考えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

かけがえのない命を守るために

1月1日16:10に石川県能登地方で、震度7の大地震が発生し死者・負傷者を含めた人的被害は1500名を超え、津波の被害もあり、20日以上たった現在も広範囲にわたり、住宅被害は13000棟を上回っています。交通網のみひ、大規模火災、停電や断水も発生し、ライフラインがいたるところで寸断されています。厳しい寒さの中、避難所生活を強いられている多くの方がいます。

本県にも活断層があり、いつ同様な状況になるか分かりません。今回の震災で犠牲となった方は、家や家具等の下敷きとなって尊い命を失うことになってしまいました。各学級でも安全指導をしました。リモートでの全校朝礼の中でも、改めて「大地震から自分の命を守るための心の準備も」という話をしました。登下校中、遊び等で出かけている時、家に一人にいる時、どの部屋にいるのか等々。様々な場面を想定する中で大地震が起きた時に、「自分の命を守るためにどのような行動をとるか」という心の準備しておくことも、実際に災害が起きた時の、正しい状況判断と命を守る安全な行動につながるという話をしました。

ぜひ、今回の能登半島地震をきっかけに、各ご家庭でも、様々な場面を想定した「自助行動」についてお子さんと話をする機会を持っていただけたら幸いです。児童が在校中に震度5弱以上の地震が起きた場合は引き渡しとなりますので、再度確認をお願いいたします。

子どもたちの安心・安全を願って ～6年間ありがとうございました～

「おはようございます。」「行ってらっしゃーい!」「自転車の運転、気をつけてね!」毎朝正門の前に立ち、元気で大きな声かけ等で子どもた

ちの登校時の安心・安全のためにご尽力をいただきました 津金 達蔵 様が、2学期の終業式をもってその活動を終えられました。津金様は、お孫さんの入学を機に活動を始められ、里垣小学校・東中学校の児童生徒の登校時に子どもたちの見守りをしてくださいました。

児童の登校がある日は、午前7時40分頃から8時15分頃まで正門前で子どもたちの登校指導の活動をお手伝いしてくださいました。



これまでの6年間には、真夏の暑さの厳しい時期にも、寒くて北風の強い日にも、大雪で通学路に雪が積もっている日にも、毎回毎回、「子どもたちのために」の思いの中で取り組んでいただきました。

最終日には、6年間お世話になった6年生が全校児童を代表して、感謝の気持ちを伝える時間を設けました。津金様は、6年生から贈られたメッセージアルバムを目を細めて、うれしそうにご覧になっていました。これまで長い間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

「野球しようぜ!!」 大谷翔平選手からのプレゼント



みんなが楽しみにしていた大谷翔平選手からのプレゼントが里垣小学校にも届きました。15日に児童会本部の皆さんに進行してもらい「オープニングセレモニー」を行いました。

中からグローブが出てくると、体育館は歓声に包まれました。開けたてのプレゼントには大谷選手からのメッセージも添えられていました。三井児童会長がその場でみんなに伝えました。メッセージ

を会長が上手に読み終わると今度は大きな拍手が沸き起こりました。

次は、いよいよ「始球式」です。代表3名をその場で決めました。左利き用グローブの代表ジャンケン勝者1名、右利き用グローブ代表ジャンケン勝者2名を決める大ジャンケン大会では、WBC決勝戦のような盛り上がりでした。その後、グローブは、6年生から1年生まで全てのクラスで時間をかけて紹介されました。グラウンドでキャッチボールや



ゲームをするクラス、記念写真を撮る

クラス等、様々でしたが共通点は『みんなが笑顔!』日本全国の小学校でみんなを笑顔にするなんてすごいことと大谷翔平選手の素晴らしさを改めて感じました。

グローブは校長室においてあり、誰でもいつでも使えるよう

にしてあります。中休み・昼休みには、「フォームボール」という体育の教材で使用している柔らかいボール、テニスラケットを使っての「ホームラン競争」や「キャッチゲーム」等で盛り上がっています。朝、玄関前で「しげる先生今日も一緒に遊



びましょう!」の予約が入るとつい「よっしゃ、野球しようぜ!」と気持ちは校長からしげる少年に……。